



第  
2530  
地区

## 福島西ロータリークラブ会報

会長 相澤 隆  
幹事 佐藤 卓立

クラブ奉仕委員会  
委員長

黒澤 信之

会報・雑誌・広報・  
IT委員会委員長

大平 謹一郎

令和元年10月26日(土)・27日(日) 第13回 通算第1547回例会(10/28振替)  
令和元年11月10日(日) 第14回 通算第1548回例会  
令和元年11月11日(月) 第15回 通算第1549回例会

・例会日/月曜日12:30 ・例会場/ウェディング エルティ ☎(024)535-6188

事務所/福島市万世町2-5 福島銀行本店9F ☎(024)536-1010・FAX(024)536-1011 Eメール/f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

### 第15回例会 点鐘12:30

- ◇開会点鐘 相澤 隆 会長
- ◇国家斉唱、ロータリーソング「奉仕の理想」  
ソングリーダー 高橋 智弘 会員
- ◇「四つのテスト」唱和  
職業奉仕委員会 渡辺 敬藏 委員長
- ◇お客様並びにビジター紹介  
福島県造園建設業協会専務理事 中嶋 都様

#### 11月誕生祝い

- ・佐久間政文 会員 昭和23年11月12日生
- ・佐藤 宗弘 会員 昭和38年11月18日生
- ・根本いずみ 会員 昭和41年11月29日生



◇会長あいさつ 相澤 隆 会長



皆さんこんにちは。本日は、ゲストとして中嶋都様に出席していただいております。後ほどスピーチをよろしく願います。また、11月誕生祝いの皆様、改めましておめでとうございます。

前回の通常例会から大分、日にちが空いてしまいましたが、この間、大きなイベント等もございましたので、まずは報告をさせていただきます。

初めに、去る10月26、27の両日、RI2530地区の地区大会が開催されました。今回はコ・ホストクラブとして、運営に協力していただきました皆様、また、参加いただきました会員の皆様には大変ご苦労様でした。ありがとうございました。

簡単に内容の方を報告させていただきますと、今回の大会のテーマは「つなごう、奉仕の心を！」ということで、1日目はクーラクーリアンテにおきまして、午前中に会長・幹事会を行った後、午後から本会議と地区リーダー研修セミナー、RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会が開催されました。

このうち本会議のメインは、櫻井権司RI会長代理

が「明日のために」という演題で講演を行いました。内容は「クラブを活性化させ、人が集まる、楽しいクラブにしていきたいと思います」という話して、クラブ活性化を実現するための取り組みとして、戦略計画の重要性や意義ある例会の開催などを強調されました。

2日目、パルセいいざかで行われた地区大会本会議では、ソフトボール女子・元日本代表監督の宇津木妙子氏が「夢の実現～2020東京五輪で輝く！～」と題して記念講演を行いました。表彰関係では、当クラブが国際ロータリー表彰の「ロータリー賞」を受賞。また、新米山功労者で久米会員が表彰を受けております。

引き続き、30日には「第23回福島西ロータリークラブ杯少年野球大会」の決起大会が開催されまして、ちゃんこ料理の「若葉山」でしっかりと打合せを行いました。ちょうど前日に大相撲・九州場所の新番付が発表され、三男・若隆景関の幕内昇進が決まった記念すべき時でしたので、店内には黒澤会員からのお祝いの花が飾られており、非常にタイムリーな会合でありました。

その後、先週の8日と9日には、クラブ事務局の移転作業が行われました。本日から、福島銀行本店9階の新事務所で正式に業務開始ということになります。

事務局に訪問する場合は、銀行西側入り口から入館して受付で所属クラブ名・氏名を告げ、入館バッヂを付けて入るといった段取りとなります。なお、事務局へのメールアドレスは変更ありませんが、電話・FAXの局番が変更となりましたのでご注意ください。

10日の福島競馬場での職場訪問例会では、8名の方々に参加していただきました。好天にも恵まれ、広く、開放的な雰囲気の中で競馬を満喫して参りました。収支が大幅なプラスという会員もおられまして、楽しんでいただけたのではないかと思います。

また同日、郡山市のユラックス熱海で「補助金管理セミナー」開かれ、久米委員長に出席していただきました。ありがとうございました。

次に、お知らせということで、指名委員会の開催について述べさせていただきます。「クラブ細則第3条第1節」に則り、歴代会長をもって構成される指名委員会を、本日11月11日午後5時30分より、峰亀にて開催いたします。2020-21年度役員7名、および5名の理事候補者、2名の監事候補者の指名を、お願いすることになっておりますのでお知らせいたします。

最後に、もう1件。報告事項となりますが、伊勢南ロータリークラブから台風19号に関してのお見舞いが届いておりますので読み上げさせていただきます。

「このたび台風19号の集中豪雨による河川堤防決壊の件、大変驚いております。謹んでお見舞い申し上げます。御地の詳しい状況が一切わかりませぬ、テレビや新聞での報道を見るにつけ、不安が募る一方でございます。自然による災害とはいえ、ニュースの映像を目にするに、誠にお気の毒に存じ、同情の念に堪えません。一日も早い復旧を切に願っております。お取込み中とは存じますが、まずはお見舞いまで。貴会と会員の皆様のご無事を心よりお祈り申し上げます」

以上、最近のクラブの動きが中心となってしまいましたが、あいさつとさせていただきます。

#### 【使命委員会開催のお知らせ】

クラブ細則第3条第1節に則り、歴代会長を以て構成される指名委員会を本日11月11日(月)17時30分より峰亀にて開催致します。2020-21年度役員7名、および5名の理事候補者、2名の監事候補者の指名をお願いする事になっておりますのでお知らせ致します。

◇幹事報告 佐藤卓立幹事

○例会変更のお知らせ

・福島RC14日の例会は、川俣RCと合同の夜間例会で18時30分よりサンパレスに変更しております。

・当クラブ次週19日例会は休会となりますのでお知らせ致します。

・11/23-24 あづま球場にて少年野球大会開催になります。会員多数のご協力をお願いすることになりますので宜しくお願い申し上げます。

#### 委員会報告

◇出席・スマイリングBOX小委員会 黒澤信之委員長

○相澤隆会長＝中嶋様、本日はゲストスピーチよろしくお願ひいたします。

○久米允彦会員＝中嶋様のお越しを歓迎申し上げます。

○佐藤宗弘会員＝先日は競馬場例会お疲れ様でした。本日は誕生祝有難うございます。誕生月にあやかり福島8R・10R・京都G1をゲットしましたので収益のごく一部を投入します。

○根本いずみ会員＝秋晴れの下、職場訪問は有意義な時間となりました。

○野尻榮一会員＝中嶋様スピーチに御期待致します。

—福島県造園建設業協会 中嶋様のスピーチによせて—

○佐藤卓立幹事 ○大平謹一郎会員 ○佐藤慶行会員

○高梨哲男会員 ○高橋智弘会員 ○渡辺敬藏会員

○黒澤信之会員

本日のスマイリングBOX集計12件 33,000円

ご協力頂きました皆さん、ありがとうございました。

◇社会奉仕委員会 高梨哲男委員長

\*チャリティーオークション出品のお願い

◇会報・雑誌・広報・IT・小委員会 大平謹一郎委員長

\*「友」11月号紹介

ロータリーの友11月号の紹介です。

横組 P3 RI会長メッセージ

毎年11月に国連で開催されるロータリーデーについて、ロータリーと国連の長年にわたる「関係を記念してロータリーは6月まで5つの特別イベントを企画しています。是非参加をと、よびかけています。11月はロータリー財団月間です。

横組 P8 月間にちなんで特集です。

ロータリー財団 世界でよいことをする。

未来の礎となる財団の最新統計データについて

P10・P11 財団への寄付の種類や認証について紹介しています。

P12 私がロータリー財団に寄付をするモチベーションについてと題して4人のロータリアンが述べております。11月5日から1週間は世界インタラクティブ週間です。

P14 インタラクティブ達の活動の一部が紹介されています。9月25日 仙台市で開催された第15回ロータリー日韓親善会議の様子が横組P5、P19～21に掲載されています。P22～24には、青少年がつなぐ草の根交流、日韓交流事業も紹介されています。

横組の表紙は、「ロータリー財団の父」アーチ・クランプさんです。世界でよいことをしようとする基金の設立を提案し、これがロータリー財団の標語になっています。

縦組 P4 SPEECHは、2月8日福島南RCホストで行われた東京麹町RCの元会長久保田智也さんのお話です。RIポリオ根絶運動の源流をつくった、同RCの先輩 山田彝、峰英二会員について、自らインドに行って予防接種を行い、地区に働きかけてコールドチェーンをつくるために奔走した様子を述べておられます。

縦組 P22 ローターアットワークには、7月29日～8月3日実施した第8回「がんばろう東北復興の折り鶴プロジェクト」が掲載されています。県立ふたば未来学園高等学校を2011年9月アメリカで起きた同時多発テロの遺族で構成する「911家族会」メンバーが訪れ生徒と交流した様子を郡山RC高橋会員が書いています。

◇本日のプログラム———ゲストスピーチ 福島県造園建設業協会専務理事 中嶋 都様

本日、ゲストとして出席していただきました、福島県造園建設業協会専務理事の中嶋都様の紹介をさせていただきます。

中嶋様は、昭和30年代のお生まれでございまして、桜の聖母学院高校から、玉川大学の農学部農業科を卒業され、昭和60年から県造園建設業協会に勤務されました。平成18年から事務局長、同27年から専務理事を務めておられます。

女性活躍社会のトップランナーであるとともに、造園協会の「一語一絵 みどりの文」や「お庭拠点づくりプロジェクト」「福島刑務所の受刑者に対する職業訓練」「高校生の技能講習」など、特色のある事業を意欲的に企画・推進しておられるほか、県森林・林業・緑化協会の機関誌「林業福島」の「はなしのひろば」のコーナーに、6年にわたってエッセイを連載中であります。

本日は「秋にちなんで」というテーマで、「夕焼けの話」や「座るといふ字の話」「食品ロス2010運動の話」あるいは「緑の由来」などについて話していただけたということでございます。

それでは、中嶋様、よろしくお願ひいたします。

ただいまご紹介を頂きました中嶋と申します。

本日は、私なりに 身近な話題を3つほど拾ってまい



りました。食事のあとの一番眠い時間ではありますが、どうぞ皆様、聞き上手になっていただければ幸いです。よろしく願いいたします。

さて、秋も深まり、紅葉がはじまりましたが、11月

8日は暦の上ではもう立冬であります。立冬だけではなく、立春、立夏、そして立秋のこの「立つ」という字には新しい季節が始まるという意味があるようですが、これからは冬だと杵をはめ始めたのは、連歌がやり始めた鎌倉時代と言われていますが、町の風景は、まだまだ晩秋ですし、秋の月もきれいです。その月を縁側とか濡れ縁に座って眺めることはないでしょうか。和風建築には縁側や軒下があります。縁側に座る、軒下で雨宿りをする、それは、一見ははっきりとした目的のないあいまいな空間ですが、その空間を「曖昧な妙」という表現をされた建築家がいらっしやいました。これは、日本人が余白の美を好むのと同じ感性だと思いますが、私は、この「曖昧な妙」という言葉が大好きです。その縁側に座って晩秋の風景を眺める、とても絵になるような気がします。

ここでみなさんにご紹介したい言葉がこの「座る」です。この「座る」という字は、土の上に人がふたりすわっているということだそうですが、ある仏教家は、そのふたりとは自分と自分である、という解釈をしています。土にすわって自分と対話をする。自分の内側と向き合ってみるということです。

今の時代、向き合うものといったらパソコン、スマホ、テレビだけで、ゆっくり自分と向き合うことがなくなりました。もちろん今の若者もです。ファミレスでも家族で食事にきていても、みんなそれぞれスマホと向き合っています。電車の中でもほぼ90%の人が、スマホと向き合っている光景は、なんとも不思議で異常ですが、その風景が今のあたりまえの日常の風景になっています。そこで晩秋の長い夜には、晩酌の前に座って、お酒の向こうにいる自分と向きあってみるとかはいかがでしょうか。また、11月22日は、いい夫婦の日です。人生のパートナーがいらっしやる人は、お互いに向き合ってみるものいいでしょう。また新しい発見があるかもしれません。

次は、夕焼けにまつわる話をしたいと思います。秋は、夕焼けもきれいです。薄暗くなりかけると、まち全体が夕焼け色に染まり、短い時間ですが、特別な風景になり、情緒的な雰囲気になります。最近の新聞で、こんな投稿を目にしました。東京の70歳のご婦人の投稿です。「公園のベンチから夕焼けがきれいに見えて、隣にすわっている女の子に夕焼けきれいなね、と言ったら、その子は全盲で、思わずごめんねと言うと、その子は、夕焼けのオレンジとピンクの色は、目をつむってみるととても温かく感じる色なんだよ、と先生に教えてもらったの、だから私にも見えるよ、きれいだね。」といったそうです。温かい色、温かい心、秋の夕焼けは目と心で感じるものだと思います。ちょうど、その投稿を目にした

のは、神戸市で発覚した想像もつかない教師のいじめ事件があった時でしたので、日本にはこんな温かい心の先生がいることを知ってとても感動しました。こんな温かい先生がいることをみなさんにも知っていただきたくお話をさせていただきました。今日、夕焼けがでたら是非温かい心の先生がいることを、こんな風に夕焼けを見ている子がいることを思い出してみてください。

最後は、そろそろ忘年会の季節になってまいりました。忘年会が終われば、新年会、送別会、歓迎会、お花見など一年中なにかしらで会合が続きます。ここで、3010運動あるいは、2010運動をご紹介しますと思います。もうご存じでしょうか。この3010運動は乾杯の開始後30分と中締め10分まえには自分の席についておいしいお食事を楽しみましょう、という運動です。おいしいお料理を食べ、食べ残しを少しでも減らしたいという運動であります。もうご承知のとおり、日本で廃棄される食品は、年間621万トン(事業系339万トン、家庭系282万トン)お金の換算すると、なんと10兆をこえるそうです。廃棄率も世界一だそうで、なんともったいない現状です。

この地球上には、まだまだ飢えに苦しむ人たちがいる中で何とも酷な話でもあります。そこで平成28年10月には、福井県で「全国おいしいたべきり運動ネットワーク協議会」が発足しました。今では47都道府県325市町村が会員となっており、食品ロス対策を講じています。また、チラシをお配りしましたが、10月1日には、消費者庁で「食品ロスの削減の推進に関する法律」を施行し、削減を総合的に推進することを目的としているようです。

ここで一番おもしろいのは、調べてみたらこの食品ロスの窓口が各県とも違うということです。ある県は、循環社会推進課、消費生活センター、ごみ減量課、くらしの相談課だったりするわけです。これは、食品をゴミとして扱うか、リサイクルとして生かすのかのその考え方の違いだろうと思いますが、ここで面白い取り組みをご紹介します。兵庫県西宮市では、美化企画課があり、そこでダンボールコンポストで肥料をつくることを、また、愛知県では、食育ともからめ郷土料理や食材を残さず料理する方法をネットで紹介をしています。そして、福島県では、窓口は一般廃棄物課ですが、取り組みとしては、食べ残しゼロ協力店、事業所を募集しておりまして、現在県内で410店舗が登録をしているということです。内容は、登録のチラシをご覧くださいと思います。

自分の育った家庭での食卓を思い起こしてみますと、先ほど相沢会長からのご紹介で昭和30年代の生まれの私ですが、30年から39年までありますのでこの段階かはお想像におまかせいたします。昭和30年代の食卓で、父親は大正元年生まれの頑固な父親で、親がお箸をとらないとまるいちゃぶ台での食事は始まりませんでした。そんな頑固な父親から米一粒ももったいないから残さず食べろと言われて育ってきましたので、食品ロスでこれほどの規模で運動が展開されているとは正直驚きでしたが、ひとりひとり、心がけなければいけないことだと思います。

最近では、売れ残り食品をアプリでも紹介して安く販売する店舗もあります。是非、これから始まる一連の会合では、ひとりひとりが3010運動心がけたいと思います。余談ですが、会合は乾杯ではじまりますが、その乾杯条例を各地で作っています。福島県では南会津が地酒で乾杯、ユニークなのは郡山市。お酒だけではなく地元産のニンジンやナシのジュース、酪農牛乳さんがあるので牛乳で乾杯をしよう、また、喜多方市は喜多方産の酒器に注いだ地酒による乾杯を推進する条例を作っています。が、ネット上の意見もみますと最初の乾杯はのど越しのいいビールが圧倒的に人気だそうです。

そろそろお時間になりますが、最後に、やはり職業から「みどり」に関するお話でしめたいと思います。志村ふくみさんという染色家がいらっしゃいます。日本の染織家、紬織の重要無形文化財保持者(人間国宝)、植物から命の色をいただくという染色家ですが、

その志村さんが「みどり」という色についてこんなことをお話されています。「青と黄色で作られた色である。青は暗闇の色、黄色は光の色、暗闇に一筋の光が差し込まれて生まれたのが緑色である。だからみどりは、いのちの色」と言われました。赤ちゃんは赤子とも言いますが緑ごともいいます。赤ちゃんは、命そのものです。緑だった葉っぱも、常緑樹を除いて紅葉をして、だんだんと落葉をしていきますが、葉を落とした裸木のシルエットの姿も凛々しくてとてもきれいです。来年にまた新しい緑の葉がでてくるまでそんな風に街路樹やお庭の木々を眺めてそのシルエットを楽しんでいただければうれしいです。

今日は、つたない話に耳を傾けていただきましてありがとうございました。これからも、福島西ロータリークラブの活動がますます充実されますことを願っています。

RI第2530地区 2019-20年度地区大会 第13回 通算1547回

- ◇地区大会1日目 会長幹事会
- ◇日 時／令和元年10月26日(土) 11時20分～
- ◇会 場／クーラクーリアンテナパレス



- ◇地区大会2日目
- ◇日 時／令和元年10月27日(日) 9時～
- ◇会 場／パルセいいざか



JRA福島競馬場職場訪問例会 第14回 通算1548回

- ◇日 時／令和元年11月10日(日) 12:30～



- ◇会 場／JRA福島競馬場6F特別来賓室

